

胆膵疾患における内視鏡的ドレナージ術に関する検討

1. 研究の対象

当院で胆膵疾患の診療を受けられた方

2. 研究目的・方法

胆管がんなどの悪性疾患や自己免疫性膵炎などの良性疾患に伴う胆管狭窄、慢性膵炎などに伴う膵管狭窄を治療する方法として内視鏡的ドレナージ術(経乳頭的アプローチ、超音波内視鏡下アプローチ)は有用と考えられています。また感染性膵嚢胞、胆嚢炎などに対する内視鏡的ドレナージ術が報告されています。しかし、至適なドレナージ法、合併症のリスクと関連する因子、ドレナージ術成功に関連する因子、ドレナージ術施行後の臨床経過との関連などについては十分に解明されているとは言えません。そのため、胆膵疾患に対する内視鏡的ドレナージ術を施行した症例について、患者背景、検査結果、内視鏡処置に関連する情報、治療成績、合併症、ドレナージ術後の臨床経過などの臨床情報を後ろ向きに検討します。また、必要に応じて内視鏡的ドレナージ術を施行しなかった胆膵疾患の症例との比較検討も行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景、検査結果、内視鏡処置に関連する情報、治療成績、合併症、ドレナージ術後の臨床経過など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 甲斐 優吾

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 大川 和良

様式第 1-4 (2018. 4. 1 版)

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181